

ウェブハンドリング技術の基礎と不具合の対策法

ーウェブの力学的性質、巻取り問題、最近の研究成果などー

セミナーURLはこちら→ <https://www.rdsc.co.jp/seminar/2510110>

1名分料金で
2人目無料

- ◆日時: 2025年10月27日(月) 10:30~16:30
- ◆受講料: 1名につき55,000円(税込、資料付)
- ◆本セミナーはZOOMを使ったLIVE配信セミナーです。会場での参加はございません。

会員(案内)登録していただいた場合、通常1名様申込で55,000円(税込)から
・1名で申込の場合、**49,500円(税込)**へ割引になります。
・2名同時申込で両名とも会員登録していただいた場合、**計55,000円(2人目無料)**です

セミナーお申込みFAX

03-5857-4812

※お申込み確認後は弊社よりご連絡いたします。

●講師: (株)SUNAMI 取締役 砂見 雄太 氏

【ご専門】トライボロジー、ウェブハンドリング、設計工学、バイオメテックス

【講演の趣旨】

フィルム、紙、不織布などのウェブを製造する過程において、搬送時には折れしわやスリップ、巻取り時には巻き締め、スリップ、ゲージバンドなどの予期せぬ不具合が生じることが多々あると思います。これを防止する手法としては、経験と勘を基に製造条件を試行錯誤的に検討していると耳にすることが多くあります。これらの不具合は製品の品質と直結することであり、不具合防止は極めて重要な課題です。本セミナーでは、上記不具合の原因・対策案について学問的な立場からアプローチして、不具合の未然の防止を図る知識を養うことを目的としています。本セミナーを受講したからといって全ての問題を解決することができるとは限りませんが、解決の糸口を見つけることができるでしょう。

【プログラム】

1. はじめに

- 1-1. ウェブの種類について
- 1-2. ウェブハンドリング技術の基礎について
- 1-3. ウェブハンドリング技術についてどう学ぶべきか
- 1-4. ウェブハンドリングの将来性
- 1-5. まとめ

2. ウェブの力学的性質

- 2-1. ウェブに作用する力とその変形
- 2-2. フックの法則
- 2-3. ウェブ素材の構造と弾性の関係
- 2-4. 液体の構造と粘性
- 2-5. 粘弾性体とその力学的モデル
- 2-6. ウェブの曲げ
- 2-7. ウェブの座屈
- 2-8. ウェブの折れしわ

3. ウェブハンドリングのトライボロジー

- 3-1. ウェブ搬送とトライボロジー
- 3-2. 摩擦力と摩擦係数

3-3. 摩擦係数の測定

3-4. オイラーのベルト公式

3-5. 固体の接触と摩擦

3-6. 摩擦のメカニズム

3-7. 摩擦係数のコントロール

3-8. マクロスリップの発生条件と抑止方法

3-9. 搬送不具合をどのように防止するか

4. ウェブの巻取り問題

4-1. ウェブの巻取り方式

4-2. ロール内部の応力状態

4-3. 巻取りに関するアルトマンモデル

4-4. 巻取りロール内部のヤング率の異方性

4-5. Hakielの巻取り理論

4-6. 巻取り張力の最適化

4-7. (株)SUNAMIの巻取りシミュレーション【WIND MASTER】の紹介

4-8. 巻取りの不具合についてどう対応するか

5. 最近の研究内容

6. フリーディスカッション

会社・大学

住所

電話番号

FAX

● セミナーの受講申込みについて ●

必要事項をご明記の上、FAXでお申込み下さい。弊社で確認後、必ず受領のご連絡をいたします。受講用URLは後日お送りいたします。

セミナーお申込み後のキャンセルは基本的にお受けしておりませんので、ご都合により出席できなくなった場合は代理の方がご出席ください。

お申込み・振込に関する詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/entry>

個人情報保護方針の詳細はHPをご覧ください。
⇒ <https://www.rdsc.co.jp/pages/privacy>

会員登録(無料) ※案内方法を選択してください。複数選択可。

☐ Eメール

☐ 郵送